

# C's MAIL

VOL.77

株主通信《シーズ・メール》2014  
第109期 第2四半期 事業のご報告  
平成26年4月1日～平成26年9月30日

 **コスモ石油株式会社**



# 一目でわかる コスモ石油グループの ビジネスアウトライン

## 石油精製・販売

当社は、千葉・四日市・堺の3つの製油所において石油製品の生産を行っており、産油国から輸入した原油は、各製油所でガソリン、灯油、軽油、重油などに生まれ変わります。販売については、全国のコスモ石油サービスステーションにおいて販売する他に、工場などの需要家にも販売しています。

\*坂出製油所は2014年4月から坂出物流基地に移行しました。

👉 最新の情報については12-15ページに記載しています。



## 石油開発

40年以上前から中東のアラブ首長国連邦のアブダビ首長国、カタール国において、原油の自主開発・生産に取り組んでいます。スピーディな経営判断を実施するため、2014年2月に石油開発事業を分社化し、コスモエネルギー開発株式会社に事業承継しました。また、IPICグループであるスペインのセプサ社\*と戦略的包括提携合意契約を締結し、事業案件の発掘を進めています。

\*カンパニア・エスバニョーラ・デ・ペトロ・レオス エス・エー・ユー

## CSR・ 社会貢献活動

地球と人間と社会の調和と共生を図り、無限に広がる未来に向けての持続的発展をめざすことを経営理念に定め、当社グループ社員やお客様とともに、国内外で社会貢献活動を展開しています。

👉 最新の情報については8-11ページに記載しています。



## 石油化学

当社グループは、新興国で需要が伸びているポリエステル繊維やペットボトルの原料であるパラキシレン、ミックスキシレンの製造に携わっています。韓国のヒュンダイオイルバンク株式会社(HDO)との合併会社であるヒュンダイコスモペトロケミカル株式会社(HCP)では、世界最大級のパラキシレン製造装置が完成し、2013年から生産を開始しています。



## 再生可能エネルギー事業

2010年に国内シェア第4位のエコ・パワー株式会社をグループ化し、風力発電事業に本格参入しました。風力発電は、将来の電力供給手段の主力のひとつとして期待が高まっています。また、メガソーラー事業への参入に向けて、合併会社を設立し、一部の発電所では営業運転が始まっています。今後も安全で環境にやさしい再生可能エネルギー事業を拡大していきます。

# Business Outline

エネルギーの安定供給を通じ、  
社会の多様なニーズに対応することを  
社会的使命と捉え、  
長期的に  
「グローバルな垂直型一貫  
総合エネルギー企業」を  
めざします。

## 第109期 (2015年3月期) 第2四半期 連結累計期間 財務・業績のご報告と 通期の見通しについて

代表取締役会長 (左)  
木村 彌一

代表取締役社長 (右)  
森川 桂造



株主の皆様におかれましては平素よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社の第109期第2四半期連結累計期間(2014年4月1日～2014年9月30日)の財務・業績の概要について、ご報告いたします。

### 当社を取り巻く経済環境について

当第2四半期において、原油価格は、米国シェール革命による供給量増大、欧州の景気低迷などエネルギーの需給緩和が意識され、投資マネーが安全資産へ回避し、期初の1バレル当たり104ドル台から94ドル台に下落しました。為替相場は、米国の金利上昇懸念からドル高傾向が進行し、期初の1ドル103円台から109円台に推移しました。

国内の石油製品市況は、原油価格、為替共に大きく変動する中、需給を適正に反映したマーケット形成が継続しました。

### コスモ石油グループの営業概況

営業概況を事業セグメント別に報告します。石油事業については、千葉・四日市・堺の3製油所体制のもと安全操業に努め、当社の供給規模、最適販路確保を前提とした稼働計画に従い、安定供給を実行しました。石油製品市況は、フォーミュラ変更などにより適正化が進行しましたが、製品販売数量が減少したことにより売上高は減少しました。石油事業の経常損失は130億円(前年同期比24億円の減益)となりましたが、原油価

#### ●2014年度第2四半期 前年同期比 (単位: 億円)

	2014年度第2四半期	前年同期比
連結売上高	15,525	-1,010
連結営業利益	127	-30
連結経常利益	49	-135
在庫評価の影響	-101	-165
連結経常利益(在庫評価影響除き)	150	30
四半期純利益	-153	-165

格の下落に伴い発生した在庫評価の影響を除くと、経常損失は29億円となり、前年同期170億円の損失から収益状況は大幅に改善(同141億円の増益)しています。

石油化学事業は、市況悪化を受けて稼働調整を実施したことにより、経常損失は28億円(同54億円の減益)となりました。

石油開発事業は、原油生産量の回復に努めると共に、戦略パートナーであるセブサとのアライアンスを強化(17ページ参照)しました。原油生産量及び販売数量は増加したものの、為替の影響及び修繕費等のコストが増加し、経常利益は216億円(同12億円の減益)となりました。

当第2四半期の連結経営成績については、売上高は1兆5,525億円(前年同期比1,010億円減収)、営業利益は127億円(同30億円減益)、経常利益は49億円(同135億円減益)、四半期純損失は153億円(同165億円減益)となりました。

当第2四半期における連結の財政状況につきましては、総資産は16,688億円となり、前期末比280億円減少しています。純資産は前期末比135億円減の2,476億円となり、自己資本比率は13.0%となりました。

### 2015年3月期 通期業績の見通し

当社グループは、「第5次連結中期経営計画」の2年目を迎え、石油精製販売事業における収益力の回復、石油化学事業及び石油開発事業等については、前中期経営計画における戦略投資の確実な回収を遂行していきます。

通期の連結業績については、原油価格の急落など

外部環境が不透明であるものの、需給適正化等により収益環境は想定を上回って推移しているため、2014年5月13日公表の予想から修正はありません。通期業績は、売上高3兆4,650億円(前期比728億円減収)、営業利益620億円(同223億円増益)、経常利益570億円(同152億円増益)、当期純利益140億円(同97億円増益)となる見通しです。

### 配当について

当社は、株主様への利益還元を行うことを重点課題としており、企業体質強化や将来の事業展開及び業績や資金バランスを勘案の上、安定的な配当を実施することを基本方針としています。この方針に基づき、当期(2015年3月期)の配当については、業績が順調に回復していることを踏まえ、2円増配し、1株当たり年間4円(期末)とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

#### ●2015年3月期の連結業績予想(2014年5月13日公表) (単位: 億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結	34,650	620	570	140

●原油価格、為替の前提(通期)  
原油価格(ドバイ)=99ドル/バレル 為替=105円/ドル  
原油価格、為替は11月6日に見直した数値

#### 業績予想の適切な利用に関する説明

業績予想については、2014年11月6日において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる場合があります。



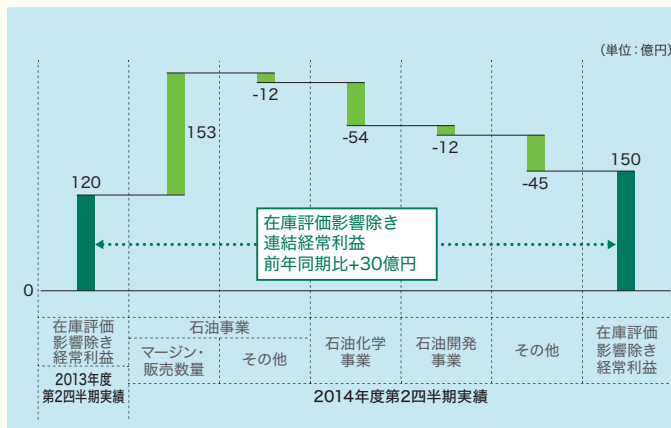
要約四半期連結損益計算書

(単位:億円)

科目	当第2四半期 (2014.4.1~2014.9.30)	前第2四半期 (2013.4.1~2013.9.30)
売上高	15,525	16,535
売上原価	14,766	15,772
販売費及び一般管理費	632	607
営業利益	127	157
営業外収益	34	106
営業外費用	112	79
経常利益	49	184
特別利益	5	13
特別損失	63	14
税金等調整前四半期純利益	-9	182
法人税等	120	147
少数株主損益調整前四半期純利益	-130	36
少数株主利益	24	24
四半期純利益	-153	12

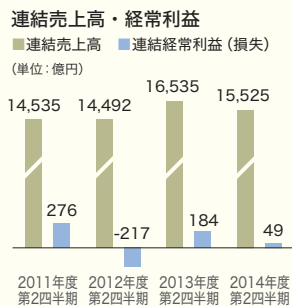
※億円未満を四捨五入しています。

連結経常利益(在庫評価影響除き)前年同期比増減分析



減収減益ながら在庫評価の影響を除くと収益状況は改善

当第2四半期の連結売上高は1兆5,525億円(前年同期比1,010億円減収)、連結経常利益は49億円(同135億円減益)となりましたが、原油価格の下落に伴い発生した在庫評価の影響を除く経常利益は150億円(同30億円増益)と改善しています。



在庫評価の影響を除いた連結経常利益は150億円となり、前年同期比30億円の増益となりました。石油事業は、石油製品市況の改善や製油所の安定操業により141億円の増益となりました。石油化学事業は、市況の低迷により54億円の減益。石油開発事業は、生産量は回復傾向であるものの、一時的な操業コストの増加により12億円の減益となりました。

要約四半期連結貸借対照表

(単位:億円)

科目	当第2四半期末 (2014.9.30)	前期末 (2014.3.31)
資産の部		
流動資産	8,889	9,218
固定資産	7,793	7,743
有形固定資産	6,009	5,891
無形固定資産	485	500
投資その他の資産	1,300	1,352
繰延資産	6	7
資産合計	16,688	16,968
負債の部		
流動負債	7,697	7,992
固定負債	6,516	6,365
負債合計	14,212	14,357
純資産の部		
株主資本	1,942	2,115
その他の包括利益累計額	230	204
少数株主持分	303	292
純資産合計	2,476	2,611
負債純資産合計	16,688	16,968

※億円未満を四捨五入しています。

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

科目	当第2四半期 (2014.4.1~2014.9.30)	前第2四半期 (2013.4.1~2013.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	180	395
投資活動によるキャッシュ・フロー	-374	-343
財務活動によるキャッシュ・フロー	173	20
現金及び現金同等物に係る換算差額	-13	40
現金及び現金同等物の増減額	-34	113
現金及び現金同等物の期首残高	1,233	1,297
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,199	1,410

※億円未満を四捨五入しています。

資産の部

総資産は、季節要因による販売数量減少に伴い、売掛金及び買掛金が減少したことなどにより、前期末比280億円減少しています。

負債の部

負債は、前期末比145億円減少しました。

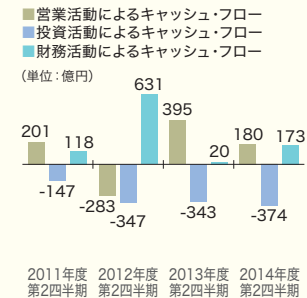
純資産の部

純資産は2,476億円となり、自己資本比率は13%(前年同期比0.7ポイント悪化)となりました。

総資産・自己資本/比率



活動別キャッシュ・フロー



## コスモ石油は、グループ社員やお客様と共に社会貢献活動に取り組んでいます。

平和で健全な社会と、地球環境の保全是、企業が持続的に発展していくための前提条件です。コスモ石油は、地球と人間と社会の調和と共生を図り、無限に広がる未来に向けての持続的発展をめざすことを経営理念に定め、コスモ石油グループ社員や社外からも幅広く参加を促し、社会貢献活動に取り組んでいます。コスモ石油の社会貢献活動は、グループ社員が主体的に参加する社会貢献活動として、1993年に交通遺児の小学生を対象とした自然体験プログラム「コスモわくわく探検隊」からスタートしました。また1995年には、環境をテーマにしたイベントを開催したり、ラジオ等で情報

を発信したりすることで、環境について考え、行動する機会を広げる活動「環境メッセージの発信」を始めました。さらに2002年からは、お客様と共に地球温暖化の防止や次世代の環境教育支援に取り組むプロジェクト「コスモ石油エコカード基金」による活動を開始しました。今後も自ら社会貢献活動を推進できる社員を増やすことにより、社会貢献マインドにあふれた企業風土の醸成を進め、また、お客様やNPO、支援先とのネットワークを広げることで、活動の質の向上や活動フィールドの拡大を図っていきます。

### 社会貢献活動の基本方針

コスモ石油としてオリジナリティのある活動を行う  
社員が参加して活動する  
経営状況に左右されず長期継続する

### 社会貢献活動のコンセプト

未来の社会をつくる子どもたちの啓発  
人間社会が存続するための基盤である地球環境の保全  
平和で心豊かな文化的社会の構築



## 子ども・環境・社会をテーマにした活動

子ども向け環境教育プログラム

## 第22回 コスモわくわく探検隊

コスモ石油は、車社会と深いつながりを持っています。そのため交通遺児の小学生を対象とし、環境の大切さを考える機会の一助となることをめざし、社員ボランティアが中心となって運営する、2泊3日の自然体験プログラム「コスモわくわく探検隊」を継続的に実施しています。第22回となる今回は、8月7日～9日、「仲間と



『森のくらし作り』の冒険に出発だ!」をテーマに、山梨県都留市「宝の山ふれあいの里」で開催。交通遺児の小学生38名、コスモ石油グループ社員20名、社外サポートスタッフ19名が参加しました。初日に「森のくらし」の計画を立て、その計画に必要な道具を準備し、火おこしや魚捕りの練習などを行いました。2日目には初日に揃えた道具を持って「森のくらし作り」の冒険へ出発。自らの手で得た沢ガニや野草などを持ち寄って「森のめぐみの交換会」を開催し、森の恵みの調理をしておいしくいただきました。3日目は、森から戻り、仲間と作った「森のくらし」をスライドで報告しました。



川遊び



森のめぐみの交換会で出品した物を説明しました



夕食準備



夜の森



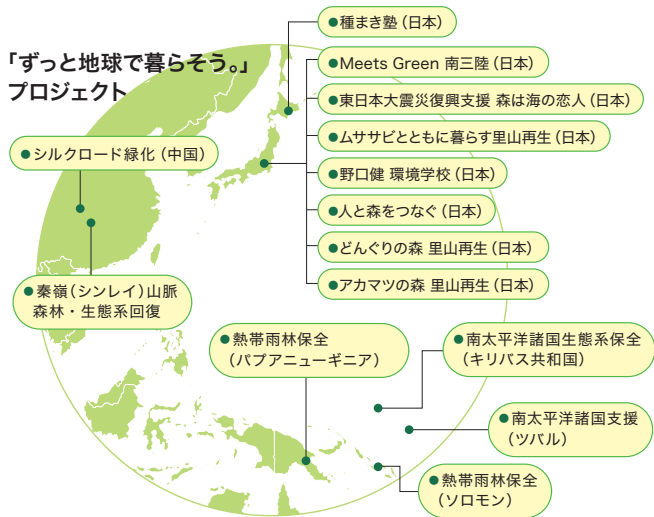
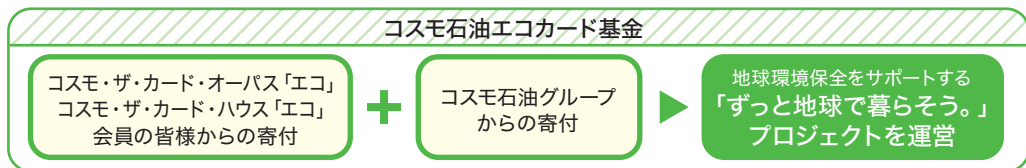
## コスモ石油エコカード基金の活動 「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクト

コスモ石油エコカード基金では、エコカード\*会員のお客様からお預かりした寄付金と、コスモ石油グループの売上の一部などをもとに、NPOやNGO、研究機関などのパートナーとともに、地域社会の方々の協力を得て、「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトを推進しています。環境問題には、

課題が密接に関連しているという現実を踏まえながら、「地球温暖化問題への取り組み」及び「生物多様性の保全」という2つの側面から本質的な問題解決に取り組んでいます。



\*コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」、コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」



### ◎プロジェクト視察レポート (2014年9月 ツバル)

ツバルは海拔が低いため、地球温暖化が要因とされる海面上昇の影響により、浸水や洪水が発生しています。エコカード基金では、2003年から、海岸の浸食を緩和するマングローブ林の再生を支援しています。

エコカード基金事務局長 濱口正道



### エコツアーのご紹介

エコカード会員の方々を対象に、「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトの現場を体験するエコツアーを開催しています。

#### ◎「人と森をつなぐ」アフンの森体験エコツアー

9月7日、一般財団法人C.W.ニコルアフンの森財団\*の「人と森をつなぐ」プロジェクトを体験するエコツアーを実施しました。エコカード会員とご家族・ご友人18名が参加し、長野県上水内郡のアフンの森で、C.W.ニコル理事長によるミニ講座、森の下草刈り、薪割り・火起こし体験などを楽しみました。

\*2014年度よりコスモ石油エコカード基金のプロジェクトパートナーとなりました。



#### ◎「アカマツの森 里山再生」エコツアー

長野県伊那市周辺のアカマツの森を松くい虫の被害から守り、里山を回復させるNPO法人森のライフスタイル研究所のプロジェクトです。10月4日～5日、エコカード会員とご家族・ご友人14名がエコツアーに参加し、アカマツ林の整備、菌根菌調査、森林学習などを体験しました。



## 環境メッセージの発信

### コスモ アースコンシャス アクト クリーン・キャンペーン in Mt. FUJI

コスモ石油は、TOKYO FM及び全国FM放送協議会(JFN)加盟局と共に、地球環境の保護と保全を呼びかける活動「コスモ アースコンシャス アクト」を展開しています。「コスモ アースコンシャス アクト」では、多くの方々に海や公園といった身近な場所での清掃を通じて、ポイ捨てや不法投棄等の現状を認識してもらい、地球環境保護の大切さと当社の環境保全の取り組みを理解していただくために「クリーン・キャンペーン」を全国で実施しています。そのシンボリックなイベントとして「コスモ アースコンシャス アクトクリー

ン・キャンペーン in Mt. FUJI」を開催しました。本年度は、7月12日、13日、JFN各局のパーソナリティーや野口健さん、11歳から60歳までの幅広いリスナーの方々に参加いただき、富士山の清掃活動とエコトレッキングを実施しました。



# 日本初、米国シェール由来の コンデンセートを輸入。 10月9日に四日市製油所に 荷揚げしました。

コスモ石油は、シェール革命に沸くアメリカから、日本企業として初めてシェール由来のコンデンセート\*を輸入しました。コンデンセートは、当社の四日市製油所で、他の原油とブレンドされ、ガソリンや軽油など製品の原料となります。当社は、今後も調達原油の多様化を図ることで、エネルギーの安定供給に努めていきます。

\*コンデンセートとは、原油と天然ガスの中間に位置するもので、超軽質原油です。アメリカでは「原油」の輸出は禁止されていますが、コンデンセートは、ガスを抜いて品質を安定させた「製品」として政府から輸出許可が与えられました。

## パナマ運河経由で10月9日、 四日市製油所に到着

当社は、アメリカ有数のシェールオイル・ガスの産地であるイーグルフォード油田のコンデンセート30万バレルを、日本企業として初めて輸入しました。アメリカでは、シェールオイル・ガスが発見され、「水圧破碎技術」によって採掘が可能になったことから、2010年前後から大規模生産が行

われるようになりました。これによりアメリカはエネルギーの輸入国から、輸出国へと変貌を遂げようとしています。当社は、輸入したコンデンセートを他の原油とブレンドしたうえで、ガソリンや軽油を精製し、市場に供給していきます。



コンデンセートを積載し、四日市港に着いたタンカー

## エネルギーの安定供給に向けて 調達原油の多様化を推進

当社は、従来から調達原油の多様化とコスト削減に取り組んでおり、その一環として今回のコンデンセートの輸入を行いました。

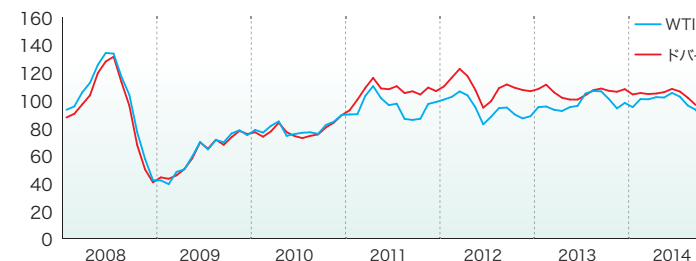
世界の原油市場では、ドバイ原油、アメリカのWTI(ウエスト・テキサス・インターメディアート)原油、北海のブレント原油といった指標に基づいてスポット取引が行われています。一般的に日本の石油会社はドバイ価格と連動した価格で原油を調達していますが、今回アメリカから輸入した

コンデンセートの価格はWTI価格と連動します。WTI価格は、アメリカでのシェールオイルの増産などにもない低下してきました。そのため、アメリカから輸入することで輸送コストは増大するものの、低価格でコンデンセートを購買することで、全体の調達コストを抑えることが可能になります。当社は、今後も調達原油の多様化やコスト削減に注力し、エネルギーの安定供給を図っていきます。



コンデンセート(左)と一般的な原油(右)。コンデンセートは超軽質で粘度が低いため泡立っている。

●WTIとドバイ原油価格の推移(単位:USD/バレル)



# コスモスマートビークルで、 お客様の快適な カーライフに 貢献しています。

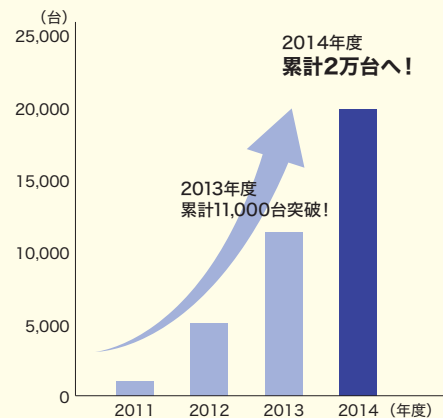


コスモスマートビークルは、コスモステーションに来店されるお客様の「もっと手軽に、気軽に、身軽にカーライフを楽しみたい」という気持ちに応じて誕生した、新しいビジネスモデルです。2011年に本格サービスを開始し、2014年11月には累計契約台数15,000台を突破しました。

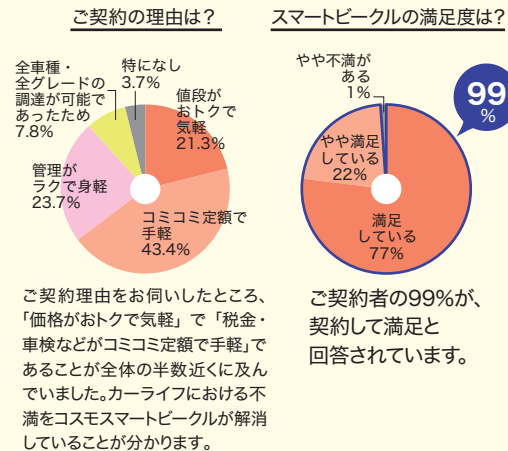
## お客様のカーライフを トータルにサポート

コスモステーションに来店されるお客様のニーズは、「ガソリンが欲しい」だけではなく「快適なカーライフを送りたい」ことが本質です。コスモスマートビークルは、税金、車検、メンテナンス費用が全てコミコミで、月々定額の支払いで新車を手軽に持つことができるため、特に女性やシニアの方々をはじめ、カーライフにおける様々な手続きを「わずらわしい」とお感じになっているお客様に大きなご支持をいただいています。

コスモスマートビークルの累計契約台数



スマートビークルご利用者へのアンケート結果



いま、スマートビークルの人、増えています。

〈その1〉  
手軽



「この金額で新車に乗れるなんて、最初はウソかと思いました。」  
清水広美様

〈その2〉  
気軽



「頭金がないのがいいですね。(スマートビークルであれば)車検やメンテナンスのお金も含まれているのがいい。」  
徳田昌枝様

〈その3〉  
身軽



「ガソリンを入れるついでに、メンテナンス等のサービスを受けられるのが大きい。」  
河田博光様

## 進化を続ける コスモスマートビークル

お客様のカーライフサポートをさらに強化するため、2014年5月に、「スマートビークルショップ」1号店をオープンしました。スマートビークルショップでは、人気車種のカタログのチェックや試乗ができるだけでなく、お客様のクルマの最適な購入時期を診断し、予算やライフスタイルに合った購入方法をアドバイスします。また、インターネットを活用したコスモビークルライフでは、お客様のカーライフ全般をサポートいたします。

コスモスマートビークルについてのお問い合わせ

☎ 0120-530-372  
コスモ みんなに

スマートビークル

検索



## 2014

**11月6日**  
コスモエネルギー開発株式会社による会社分割並びにセブサへの子会社株式の一部譲渡及び本件取引に伴う特別利益の発生について **2**

**9月18日**  
「コスモ石油グループコーポレートレポート2014」発行

**9月4日**  
広島市における豪雨災害被災者の方々への義援金について

**9月3日**  
ヒュンダイオイルバンクとの製造技術委員会開催について

**8月12日**  
「第22回 コスモわくわく探検隊」実施のご報告

**8月11日**  
「社会貢献活動レポート2014」をホームページに掲載しました

**8月5日**  
LPガス元売・小売事業の統合契約締結について

**8月5日**  
潤滑油製品の製造受委託に関する契約締結について

**7月23日**  
「平成26年度 第6回エンジンアリング奨励特別賞」を受賞

**6月20日**  
CSDソーラー合同会社に関する太陽光発電所営業運転開始のお知らせ

**6月18日**  
千葉製油所における共同事業検討に関する覚書締結について **1**

**6月17日**  
株式会社カカコムとの業務提携契約締結について

**6月16日**  
アラブ首長国連邦での日本語教育プログラム提供の覚書更新について

**6月6日**  
南海トラフ地震を想定した「災害時石油供給連携計画」連携訓練実施について

**5月27日**  
平成25年度石油学会技術進歩賞受賞について

■ トピックス ■ CSR・社会貢献 ■ IR ■ 環境

6月18日

## 1 国内トップクラスの製油所をめざし 共同事業会社設立へ

当社及び東燃ゼネラル石油株式会社は、6月18日、両社の千葉地区における製油所(当社千葉製油所：処理能力220,000バレル/日、東燃ゼネラルグループの極東石油工業千葉製油所：処理能力152,000バレル/日)の共同事業に関する覚書を締結しました。両製油所を統合することで、「国際競争力を持った国内トップクラスの製油所をめざす」との認識を共有し、2015年1月に共同事業会社を設立します。

[http://www.cosmo-oil.co.jp/press/p\\_140618/index.html](http://www.cosmo-oil.co.jp/press/p_140618/index.html)

11月6日

## 2 新鉱区獲得に向けて セブサとの連携を強化

当社グループは、中東産油国との信頼関係をベースに石油開発事業を拡大してきました。2014年1月にはIPICグループの一員であるスペインの総合石油会社セブサとの戦略的提携に合意。11月6日には、新会社コスモアブダビエネルギー開発の株式の一部譲渡を通じ、セブサとの連携強化を図りました。当社とセブサは、アブダビ国営石油会社とのワークショップにおいて、新規権益獲得に関する議論などを行っています。

\*IPIC: International Petroleum Investment Company  
[http://www.cosmo-oil.co.jp/press/p\\_141106\\_2/index.html](http://www.cosmo-oil.co.jp/press/p_141106_2/index.html)

## コスモSS新店舗オープン情報

2014年6月から11月にオープンしたコスモ石油のサービスステーションを紹介します。“ココロも満タンに”の想いを込めた店舗ですので、お近くにお住まいの方はぜひご来店ください。

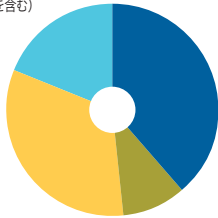


- |  |   |
|--|---|
| <p><b>2014年</b></p> <p>■ 11月オープン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 潮来バイパスSS<br/>茨城県潮来市</li> <li>● ルート274西の里SS<br/>北海道北広島市</li> </ul> <p>■ 10月オープン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● セルフステーション高崎京目<br/>群馬県高崎市</li> <li>● 北15条東<br/>北海道札幌市</li> <li>● セルフ&amp;カーケアステーションイオンモール木更津<br/>千葉県木更津市</li> </ul> | <p>■ 9月オープン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 五井第1SS<br/>千葉県市原市</li> </ul> <p>■ 8月オープン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● セルフステーション南関インターSS<br/>福岡県大牟田市</li> <li>● セルフステーション若松インターSS<br/>福島県会津若松市</li> </ul> <p>■ 7月オープン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● セルフ&amp;カーケアセンター大津中央SS<br/>滋賀県大津市</li> </ul> |
|--|---|



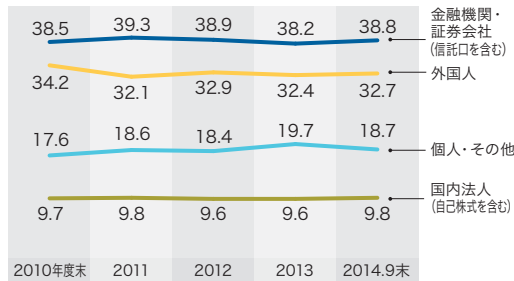
発行済株式の総数 847,705,087株

- 金融機関・証券会社(信託口を含む)  
329,246(38.8%)
- 国内法人(自己株式を含む)  
83,092(9.8%)
- 外国人  
277,236(32.7%)
- 個人・その他  
158,131(18.7%)



(単位:千株、千株未満切捨)

発行済株式数の所有者別推移 (単位:%)



社債の状況

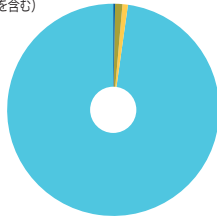
●無担保社債 (単位:億円)

発行回	発行日	前期末残高	当期末残高	償還期限
第20回	2010.1/29	142	125	2017.1/31
第21回	2010.9/21	220	220	2015.9/18
第22回	2010.12/9	100	100	2014.12/9
第23回	2010.12/9	100	100	2016.12/9
第24回	2012.8/28	200	200	2020.8/28
第25回	2013.9/30	—	100	2021.9/30
第26回	2014.2/25	—	77	2022.2/25

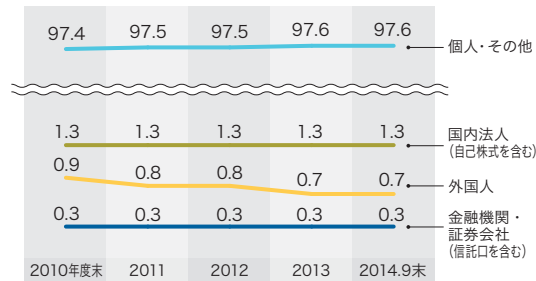
※億円未満を四捨五入

株主数 35,138名

- 金融機関・証券会社(信託口を含む)  
109名(0.3%)
- 国内法人(自己株式を含む)  
477名(1.3%)
- 外国人  
264名(0.7%)
- 個人・その他  
34,288名(97.6%)



株主数比率の推移 (単位:%)



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
インフィニティ アライアンス リミテッド	176,000	20.76
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	70,237	8.28
株式会社みずほ銀行	31,531	3.71
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	19,834	2.33
株式会社三菱東京UFJ銀行	19,750	2.32
三井住友海上火災保険株式会社	18,878	2.22
関西電力株式会社	18,600	2.19
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	15,803	1.86
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	15,792	1.86
東京海上日動火災保険株式会社	15,601	1.84

※小数点第3位を切捨  
注)持株比率は自己株式を控除して計算しています。



事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

期末配当金支払株主確定日 3月31日

1単元の株式の数 1,000株

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関  
三井住友信託銀行株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社証券代行部

電話照会先 電話0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告方法 電子公告の方法により行います。  
ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。  
公告掲載URL  
<http://www.cosmo-oil.co.jp/ir/notice/index.html>

上場取引所 東証一部

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払い配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

コスモ石油株主通信『シーズ・メール』77号

発行/コスモ石油株式会社  
経営企画ユニット  
コーポレートコミュニケーション部 IR室  
〒105-8528  
東京都港区芝浦一丁目1番1号  
TEL.(03)3798-3180  
FAX.(03)3798-3841  
ホームページ  
<http://www.cosmo-oil.co.jp/>

IRモバイルサイト



※モバイルサイトへは、このバーコードからアクセスできます。

誌名『C's MAIL(シーズ・メール)』には、「C(コスモ)の手紙」の意味を込めました。株主の皆様へ、心の通った情報を提供したいという当社の願いを、この名前に託しています。

表紙イラスト 古田忠男

表紙のイラストの中に動物がいます。さて何が隠れているでしょう。  
(正解は表紙の裏面に掲載されています)